

読み書き障害の理解と支援

～家庭・学校で出来ること ICT機器の活用について～

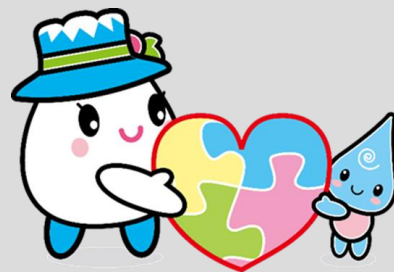
2025年 **7**月**28**日(月) 午後13時30分～15時

講師: **嶋 美紀氏**(白山市教育委員会学校指導課 特別支援教育アドバイザー)

白山市福祉ふれあいセンター2階

★読み書き障害(発達性ディスレクシア)とは…

学習障害のひとつ。知的な遅れや視聴覚障害がなく、十分な教育歴と 本人の努力が見られるにもかかわらず知的、能力から期待される読み書き能力を獲得することに困難がある状態。



白山手取川ジオパーク キャラクター
「ゆきママとしずくちゃん」

学校生活の中で、「読み書き」は避けて通れない問題です。

読み書きに困難を抱えながら学校生活を送っていると、学習面に支障が出てくるだけではなく、読み書きに多大な労力を使う為に子ども本人が疲弊して学校生活全体に苦手感、困難感が出てくる事が多く、次第に授業に参加しなくなったり、不登校の問題に発展してしまう場合があります。

保護者、担任の先生等、周囲の大人がこれらの子どもの困り感に気づくためには、まず「読み書き障害」とはどのようなものかを知ることが必要です。

読み書き障害とは何か、子どもの困り感、困難感にいち早く気づくためにはどのようにしたらよいか、困り感をどう理解し、家庭や学校で出来ることは何か、どう支援していけば良いのか等について、お話いただきます。

講師紹介: 嶋 美紀氏

石川県内特別支援学校に教員として33年間勤務。
そのうち15年間は、石川県内の小中学校、高等学校への巡回相談を担当。
退職後、白山市特別支援教育アドバイザー(非常勤)に就任し、現職。
並行して令和6年4月に読み書き相談室を開設。

公認心理師 特別支援教育士 臨床発達心理士 日本LD学会 発達性ディスレクシア研究会に所属

入場無料
申込必要
(先着100名)

第1部

13時30分～15時 : 講演会

講師: 嶋 美紀氏(白山市教育委員会学校指導課 特別支援教育アドバイザー)

第2部

15時15分～16時30分 : 読み書き障害カフェ(情報交換会)

ゲストに嶋美紀氏を迎え、引き続き同会場で実施。別途申し込み必要。詳細は裏面参照。

講演会参加希望の方は■電話、■二次元コード、■FAXのいずれかでお申込みください

■TEL 076-276-8819

■FAX 076-276-6291

■二次元コード→

